「安心と安全を次の世代に」
KATO-DENKI
加藤電機株式会社
http://www.kato-denki.com

販売店

内容をご熟読ください

自動車盗難防止装置

HORNET®
Auto Security Systems

お願い
本説明書には車載物盗難保険及び見舞金制度についての記載がございますが、2009年12月31日を持って終了いたしました。
ご了承ください。

MODEL
728G

Owner's Guide
取扱説明書

「安心と安全を次の世代に」
KATO-DENKI

はじめに

この度はホーネットGシリーズをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本書に記した注意事項は、ホーネットを安全かつ正しくご使用していただき、事故や損害を未然に防止するための大切なものです。
ご使用の前に、本書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
本書はなくさないよう、大切に保管しておいてください。

●本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載もれなどお気付きの点がありましたら、ホーネットカスタマーセンターまでご連絡ください。
●乱丁、落丁はお取り替え致します。
●本書に掲載されている内容は2004年5月1日現在のものです。
●本書の著作権は加藤電機株式会社にあります。
●本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更することがあります。
●本書の掲載画像には若干の相違がある場合がございますのでご了承ください。

目次

お取り扱い上の注意

本製品をご使用になるお客様への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載してあります。注意事項は、次のような記号に分類して表示してあります。

危険 取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う危険の生ずることが想定される事項。

警告 取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される事項。あるいは、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い事項。

注意 取り扱いを誤った場合、使用者等が損害を負う危険が想定されるか物的損害のみの発生が想定される事項。

禁止 禁止行為を表す記号。この記号が表示してある行為は絶対におやめください。

ヒント 機構上、機能上の故障やトラブルを防ぐためのヒントなどを説明。また、アクセサリーを扱う上で、各種装置の機能を正しく作動させるために必要なことや、無理な操作をさけることでアクセサリーの寿命を延ばしたり、コンディションを最高に保つためのヒントなどを説明。

強制・制約・指示等を表す記号。

※上記はいずれも安全に関する重要な事項を記していますので、必ずお守りください。

安全上の注意

警告

●エンジンルーム内に製品を取り付けたままエンジン洗浄をしないでください。
ショートをし、感電や機器が故障する恐れがあります。
●リモコンはお子様の手の届かないところに保管してください。
システムを解除してしまったり、誤って飲み込むなど事故の恐れがあります。
●メインユニットおよびオプション類の取り付けには正しい車両電装の知識が必要となります。必ず車両電装に関する詳しい知識と技術のある取付店にて行なってください。また、車両電装の知識不足による誤った設置や配線方法により車両の破損、故障等が発生しても当社では責任を一切負いかねます。
知識のない方が取り付けを行なうと車両、システムの故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ恐れがあります。
●当社全製品は、故意に分解および改造変更は絶対にしないでください。
製品本来の機能を損なうのみならず、重大な事故が発生する恐れがあります。
また、分解および改造変更を行なった製品の保証は一切しておりません。
●本製品は大音量のサイレンを使用しています。人やペットが近くにいる時に本製品を作動させないでください。聴覚障害をおこす恐れがあります。

使用上の注意

(1) 適応車種限定品

取付可能な車種は、下記条件を全て満たしている車種に限定されています。

危険

●DC12V車両専用
24V車両には装着できません。

(2) リモコンの取り扱いに関する注意

注意

●リモコンは落としたり固いものにぶつける等の強い衝撃を与えないでください。
●水がかかるような保管方法や使用方法をしないでください。
また、高温になる場所や湿気の多い場所に保管しないでください。
●持ち運びの際にはリモコンの操作ボタンが押されないように十分注意してください。
●リモコン電池確認ランプが薄暗くなったら電池が消耗しています。
早めに電池交換をしてください。
●リモコンの電池は機能テストのために使用したものであり、消耗品のため、ご購入後の使用できる期間に差があります。また、保証対象外となりますので無償交換などは一切致しておりませんのであらかじめご了承ください。電池が消耗している場合には新しい電池をお求めくださいますようお願い申し上げます。

（3）使用方法についての注意

注意

●テストの際はガラスやボディ等が破損しないように十分注意してください。
当社では万一破損等が発生しても責任は一切負いかねます。

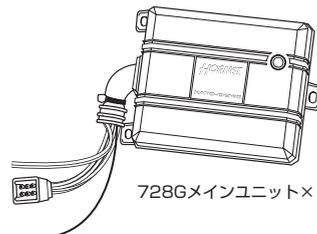
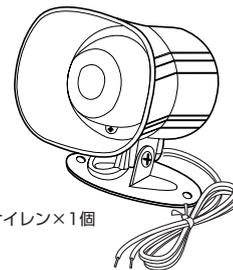
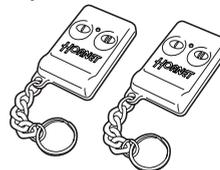
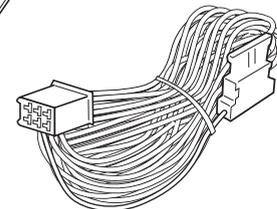
●本製品は低消費電力設計がされておりますが、長期の連続使用や環境、車両の整備状況によってバッテリーの消耗具合が異なります。1週間以上車両をご使用されない場合等は特にご注意ください。

●本製品の警告音、サイレン音は、防犯上非常に効果的な大音量で発報するため騒音などにならないよう、周囲の環境を考慮した上で適切な感度にてご使用ください。
●何らかの理由で、リモコンのボタンが押された場合には、走行中であってもパニックモードにより警報（サイレン音）が鳴りだす場合がありますが、あわてずにリモコンにより解除してください。

●本製品に過度の衝撃や振動は加えないでください。
●本製品は完全防水性ではないため内部へは絶対に水や油などが浸入しないように十分注意してください。
●本製品は電波を使用している性質上、周囲に強力な電波が発生している個所では混信を受ける可能性が全くないわけではありません。

必ずお読みください

●国産車限定
日本国内メーカーの車両に対応しています。
並行輸入車、外国車への取り付けサポートは一切行なっておりません。
●本製品の衝撃センサーは取り付ける位置によって感度が大きく変わります。
●本製品の作動の有無にかかわらず、車両盗難、車上ねらい等が発生しても当社では責任を一切負いかねますのでご了承ください。
●当社では製品の検査、修理時の代品貸し出しなどは一切行なっておりません。また、検査、修理時に発生した工賃等の諸費用はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
●本製品はアナログ制御になります。コンピューターによるデジタル多重電送通信線への接続はできません。接続をした場合は、本製品のみならず車両の機器を破壊する恐れがあります。
●車種により本製品の接続が不可能な場合があります。

728Gの梱包物（取り付けの前に必ずご確認ください）

・ダイオード×2本
・取扱説明書×1冊
・取付説明書×1冊
・ホーネットステッカー×1シート
・製品保証書兼ユーザー登録兼
保険加入申込書（はがき）×1枚
・プライバシー保護シール×1枚

※ステッカーはフロントガラスには貼らないでください。
側面ガラスに貼る場合は、ステッカー全体がガラスの開口部の下縁から100mm以下、
かつガラス開口部の後縁から125mm以内におさまるように貼ってください。
また、ステッカーの再発行は致しません。

必ずお読みください

●本製品の仕様およびデザインは性能向上等のため、予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

各センサーの特長

2段階衝撃センサー

目的 **ガラス割りやいたずら等によるクルマへの衝撃をキャッチしたい！**

車体に加えられる衝撃を自動判別して弱い衝撃では警告音、強い衝撃ではサイレン音を鳴らして威嚇します。（リモコンによる独立感度調整）
風などの揺れにはまったく反応せず、瞬間的に加わる衝撃あるいは衝撃波のみを検出します。

お客様のご使用環境に応じて感度調整が行なえます。
（P.22参照）

注意

- ●衝撃センサーの性質上、感度を敏感にするほど様々な外的要因（幹線道路周辺、工事現場や工場の近く、飛行場周辺、バックファイヤーの激しい車の往来、台風その他）による微振動や衝撃波を検出して犯罪時以外にもサイレンが鳴る場合があります。センサーの特徴をよく理解し、ご使用環境や目的によって適切な感度に設定の上ご使用ください。
- ●一般的に衝撃センサーで傷つけを防ぐことはできません。

ドアトリガー®

目的 **ドアのこじ開けに反応させたい！**

ドアトリガー配線により、システム作動時にドアを開けるとサイレン音で威嚇します。

電流センサー

目的 **エンジン始動やドアのこじ開けに反応させたい！**

●ドア、トランクが開けられるなどして、ルームランプが点灯した際に車両に流れる電流変化をとらえて即サイレン音を鳴らします。

＊エンジンスターター、ターボタイマー、イモビライザー、オートスタビライザー、純正セキュリティ装着車の場合は電流センサーをOFFにする必要があります。
＊ルームランプの点灯による電流変化が少ない車両や、停止中でもなんらかの要因で電流変化がおこる車両の場合は、使用できないことがあります。
＊エンジンスターター／ターボタイマー併用の場合は使用できません。

標準設定：ON

その他の機能・特長

●サイレン・音について

128dB 6音色サイレン

犯罪心理を研究し開発された6音色サイレンは約128デシベルの大音量で撃退効果は抜群です。

クリックトーン®（動作確認音）ON／OFF

システムON／OFF時の動作確認音の有無を設定できます。（P.26参照）

標準設定：ON

サイレンタイム選択

犯人撃退に必須のサイレン音は、大音量で長い時間サイレンを鳴らした方が防犯効果は高くなります。しかし、大音量のサイレンではお客様の駐車環境によっては近所迷惑にもなりかねません。本製品はこのような事情を考慮してサイレン時間を選択できます。リモコンによる機能設定によって5秒、10秒、15秒、30秒から選択ができます。（P.28参照）

標準設定：30秒

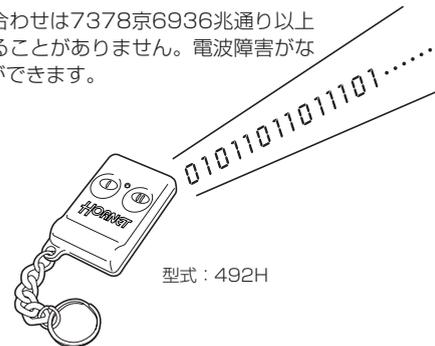
●リモコンについて

デジタルリモコン（2個標準）

デジタルリモコンのIDコードの組み合わせは7378京6936兆通り以上あり、電波の混信によって誤作動することがありません。電波障害がなければ通常20〜30mの範囲で操作ができます。

注意

- ●リモコン増設をご希望の場合は、保証書をお持ちの上､取付販売店へ。
- ●セキュリティ製品のため保証書をご提示いただけない場合、増設をお断りする場合がございます。
- ●リモコンは最大4個まで併用可能。
- ●リモコン用電池：型式601M（1個入り）

型式：492H

コードホッピング® 特許

コードホッピング（IDコード盗難防止機能）は、リモコンのIDコードを特殊なプログラムによりランダムに変化させ一度使用したリモコンコードは2度と使用しないため、IDコードの複製による車両の盗難を完全に防止できます。

標準設定：ON

●異常確認

メモリー機能

システム作動中、サイレンが発報したことを記憶し、システム解除時にクリックトーン（動作確認音）の回数が変化して、発報の有無を確認できる便利な機能です。

状　態	レポート内容	動作確認音
システムON	システム作動	ピッ
システムON	半ドアやセンサーが反応した状態でシステムが作動	ピッ　約2〜3秒後　ピッ
システムOFF	システム解除	ピッピッ
システムOFF	サイレン音が鳴ったことをレポート	ピッピッピッピッ

半ドア検出機能
システム作動時に半ドアをキャッチすると確認音でお知らせします。

ヒント

●メモリー機能は警報の鳴った回数やシステム、センサーの故障をレポートするものではありません。
●半ドア確認音が鳴ったら一度システムをOFFにし、ドアを閉めて再度システムをONしてください。

●便利な機能

ハイセキュリティ解除™

サイレン発報中にリモコンのボタン操作によって、セキュリティシステムはOFFされずに、サイレン音だけを止めることができます。ドアロックなどが連動されている場合、セキュリティシステムそのものが解除されないよう安全性を保つための機能です。（P.20参照）

パニックモード（強制サイレン）

いざというとき、大きな声では叫べないもの。
でも、パニックモードならリモコン操作で強制的にサイレンを鳴らすことができます。（P.19参照）

ヒント

パニックモードのサイレンタイムは設定された秒数サイレンが鳴ります。

エンジンスターター／ターボタイマー付き車両と併用する場合

本製品は、エンジンスターターやターボタイマーと併用した場合でも配線によりドアのこじ開けやオプションセンサーが作動した際にサイレン音を鳴らすことができます。

ヒント

●エンジンスターターやターボタイマーと併用するための配線を行なった場合は、エンジン作動中ドアトリガー以外のすべてのセンサーはスリープモードとなり反応しませんが、エンジン停止後は約5秒後に自動復帰します。
●エンジンスターターやターボタイマーと併用する場合は電流センサーをOFFに設定してください。

コンビニモードTM

幹線道路周辺やコンビニエンスストアなど振動の多い場所に駐車する場合、リモコン操作で2段階衝撃センサーのみを一時的にスリープ状態にできます。2段階衝撃センサーを働かせたくない場合に便利な機能です。（P.21参照）

ライトフラッシュ

システムのON/OFF時、警告時、サイレン時にクルマのスモールライトを点滅させることで、視覚的にも犯人を撃退することができます。

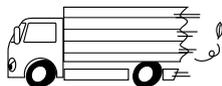
※車種によりオプションが必要となる場合があります。

センサーレポート機能

センサーが異常を感知した状態でシステムをONした場合、動作確認音にて異常を知らせます。

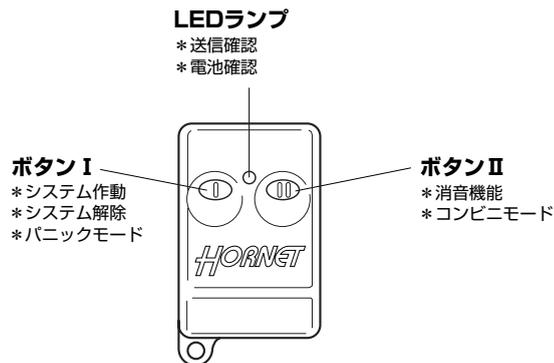
標準設定：ON

NR-AノイズリダクションTM機能　特許

NR-Aの採用によりトラック通過ノイズ等による連続微振動を大幅にキャンセルできるようになりました。また、強風などの揺れに反応しないため誤報が大幅に低減されました。

車載物盗難保険（最高50万円）で二重の安心

車載物盗難保険はカーナビ、カーオーディオ、カーテレビ、無線機、ETCが万一盗難にあった場合でも最高50万円の保険で保証されます。

※加入の前に本書の「ホーネット車載物盗難保険について」の内容を必ずお読みください。（P.44参照）

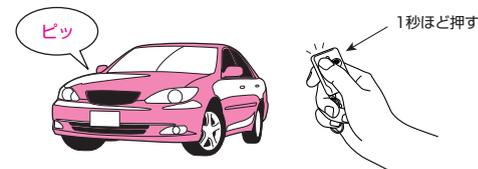
リモコンのボタンについて

注意

●リモコンの電池は機能のテストのために使用したものであり、消耗品のため、ご購入後の使用できる期間に差があります。また、保証対象外となりますので、無償交換などは一切致しておりません。電池が消耗している場合には、新しい電池をお求めくださいますようお願い申し上げます。

ホーネットを作動させる

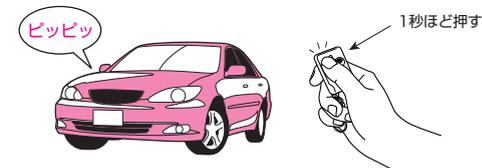
1 エンジン停止後、クルマから降り、すべてのドアを閉めます。

2 リモコンのボタンⅠを1回（1秒ほど）押します。

3 システムが作動すると“ピッ”と1回確認音が鳴って作動したことを知らせます。

ホーネットを解除する

1 システム作動中に、リモコンのボタンⅠを1回（1秒ほど）押します。

2 サイレンが鳴っていなかった場合には確認音が2回“ピッピッ”と鳴って解除します。

※サイレンが鳴った場合はメモリー機能により4回“ピッピッピッピッ”と鳴ります。（P.12参照）

注意

●機能設定でクリックトーン（動作確認音）をOFFに設定してある場合には作動の確認音は鳴りません。
●何らかの理由で、リモコンのボタンが押された場合には、走行中であってもパニックモードによりサイレン音が鳴りだす場合がありますが,あわてずにリモコンにより解除してください。

クリックトーン® 消音機能

住宅密集地や夜間にご使用の場合システムの作動／解除の音を周囲に気付かれたくない時に便利な機能です。

1 リモコンボタンⅡを1秒ほど押してください。

――5秒以内に次の操作を行なってください。

2 リモコンボタンⅠを1秒ほど押してください。
クリックトーン（動作確認音）を消してホーネットの作動／解除ができます。

注意

●機能設定にてクリックトーン（動作確認音）をOFFに設定した場合にはこの消音機能に関わらずクリックトーンは鳴りません。

パニックモード（強制サイレン）

緊急時や周囲に異常発生を知らせたい時などに便利です。

システム作動中 | **システム解除中**

1 リモコンのボタンⅠを、1.5秒以上押し続けます。

サイレンが鳴ります。

パニックモード

サイレンが設定した秒数鳴ります。（P.28参照）

システム作動中

2 サイレンが鳴っている最中にリモコンのボタンⅠを1秒ほど押すと、サイレンが止まり、システムが解除します。

サイレンが止まり、システムが解除します。

注意

●システム作動中にパニックモードを使用し、サイレンが設定時間鳴りきった場合は、サイレン終了後も引き続きシステムが作動します。

システム解除中

2 サイレンが鳴っている最中にリモコンのボタンⅠを1秒ほど押すと、サイレンが止まり、システムが作動します。

サイレンが止まり、システムが作動します。

注意

●システム解除中にパニックモードを使用した場合は、サイレン終了後必ずシステムが作動します。

ハイセキュリティ解除™機能

本製品はハイセキュリティ解除機能により、安全にセキュリティシステムが使用できます。
サイレン音が鳴っている最中に警戒体制を解除せずに、サイレン音のみを止めることができます。
システム自体が解除にならないため、セキュリティシステムを再度ONにする必要がありません。

1 システムON

システム作動、
5秒後に
センシング開始。

2 サイレン発報

センサーが働くと
サイレンが鳴り始めます。

3 ハイセキュリティ解除

サイレンが鳴っている最中に
操作するとサイレン音のみ止まります。
システムは引き続き警戒を続けます。

サイレン音のみ止まります。

4 システムOFF

メモリー機能により警報が
出たことを記憶し、
4回動作確認音が鳴って
システムが解除します。

システムが解除します。

コンビニモード™

幹線道路周辺やコンビニエンスストアなど振動の多い場所に駐車する場合に便利な機能です。

1 リモコンボタンⅠを1秒ほど押しシステムを
ON（作動）させます。

――5秒以内に次の操作を行なってください。

2 リモコンボタンⅡを1回押します。

3 確認音”ピッピュ－ピュ”と鳴り、
2段階衝撃センサーのみ働かなくなります。

※コンビニモードの設定音は消音できません。

4 コンビニモードの解除は、システムをOFFにすると
同時にコンビニモードも解除されます。

 ヒント

●コンビニモード設定後は、メインユニット内蔵の2段階衝撃センサーはスリープ状態になりますが、その他のセンサーは作動しています。

2段階衝撃センサーについて

【2段階衝撃センサーとは】

メインユニット内蔵の2段階衝撃センサーは車体への衝撃をキャッチし警告音またはサイレン音を発します。車体に強い衝撃が加わった場合には即サイレン音を発し、サイレンタイム設定時間あるいはリモコンによって解除されるまで鳴り続けます。弱い衝撃が加わった場合にはサイレン音は鳴らず警告音が数回鳴ります。
本製品の2段階衝撃センサーはそれぞれのモード（警告モード、サイレンモード）のセンサー感度を個別に調整可能です。リモコンで16段階の感度設定ができます。例えば、サイレンモードを0に設定すれば、サイレンを鳴らさないで警告音のみで威嚇することができるようになります。住宅密集地などで騒音が気になる方にお勧めです。

【上手な感度設定の仕方】

●クルマを駐車している環境に応じて感度を設定する必要があります。
ここでは代表的な感度設定の例をご紹介します。

例１：微振動が発生する要素が多くある場合
・幹線道路の近くでトラックなどの往来がある
・バックファイヤーの激しいクルマが往来する
・飛行場などの近く
・工事現場や工場の近くなど

警告音のみで効果的に威嚇
警告モード　０～５
サイレンモード　０

例２：犯罪防止のため異常時は必ずサイレン音を鳴らしたい
・サイレンが鳴っても特に問題ない環境

警告音とサイレン音で効果的に威嚇
警告モード　３～１６
サイレンモード　８

例３：閑静な住宅街であまりサイレン音は鳴らしたくない
・周りでは微振動は起きない
・強い衝撃ではサイレンを鳴らしたい

警告音とサイレン音で効果的に威嚇
警告モード　１６
サイレンモード　０～１

ヒント

●警告モードとサイレンモードの設定を10以上離すことで“ノイズリダクション”が効きやすくなります。

注意

●本製品は大音量で警告またはサイレンによる威嚇ができます。
●2段階衝撃センサーの感度は取付位置や取付向き、車両のボディ剛性によって大きく異なります。
●2段階衝撃センサーの感度を0に設定した場合でも、ドアのこじ開けを検出するためのセンサーは独立して作動しています。ドアなどがこじ開けられた場合にサイレンが鳴ることを確認してください。
●2段階衝撃センサーは風などによる“揺れ”には反応しません。
●2段階衝撃センサーが0に設定していない場合、連続した微振動を検出してサイレンが鳴るようにプログラムされていますので環境に応じて有効にご使用ください。

2段階衝撃センサーの感度調整方法

1 リモコンボタンⅠを1秒ほど押してシステムをONにします。

警告モードの感度調整

サイレンモードの感度調整

2 リモコンボタンⅠを1秒以上押してシステムをOFFにします。

3 前の操作から5秒以内にリモコンのボタンⅡを3秒以上押すと、感度調整モードに入ります。
確認音“ピューピュ”が鳴れば、感度調整モードに入っています。
5秒以上放置すると、感度調整モードを自動的に終了します。

4 感度を上げる場合（最大16）

リモコンのボタンⅡを押すたびに感度レベルの**確認音“ピッピ”**が鳴って1段階ずつ感度が上がります。
最大感度になると**確認音“ピッピ　ピューピュ”**が鳴って知らせてくれます。

5 感度を下げる場合（最小0）

リモコンのボタンⅠを押すたびに感度レベルの**確認音“ピッ”**が鳴って1段階ずつ感度が下がります。
最低感度になると**確認音“ピッ ピューピュ”**が鳴って知らせてくれます。

注意

●工場出荷時はサイレンモード、警告モード共にレベル7設定です。

電流センサーについて

メインユニット内蔵の電流センサーは車両のルームランプの点灯など一定以上の電流変化が発生した場合にサイレン音を鳴らします。

機能設定項目3　電流センサーON／OFF：P,30参照

機能設定項目について

項目 番号	設定項目	詳細 ページ	ボタンⅠ（標準設定） 確認音“ピッ”	ボタンⅡ 確認音“ピッピッ”
1	クリックトーン（動作確認音）	P.26	ON	OFF
2	サイレンタイムの選択	P.28	30秒	5秒/10秒/15秒 ※1
3	電流センサー　ON／OFF	P.30	ON	OFF
4	センサー警戒開始時間	P.32	5秒後	5分後
5	センサーレポート音	P.34	ON	OFF
6	2段階衝撃センサーフルサイレン	P.36	ON　サイレン&警告音	OFF　警告音のみ
7	NR-Aノイズリダクション機能	P.38	ON　警告音（継続）※2	OFF　警告音からサイレン
8	コードホッピング	P.40	ON	OFF

※1　確認音はリモコンのボタンⅡを押すたびに5秒＝2回、10秒＝3回、15秒＝4回に変化します。
※2　サイレンモードを5以下に設定してください。
警告モードとサイレンモードの設定幅が10以下の場合はノイズリダクション機能が働きづらくなります。

機能設定項目１　クリックトーン®（動作確認音）

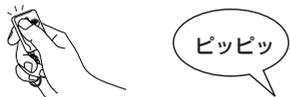
【クリックトーン　ON／OFF】標準設定　ON
システムの作動と解除のクリックトーン（動作確認音）を常時消したい場合に便利です。

1 リモコンボタンⅠを1秒ほど押して
システムをONにします。

確認音：ピッ

——5秒以内に次の操作をする——

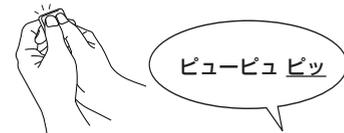
2 リモコンボタンⅠを1秒ほど押して
システムをOFFにします。

確認音：ピッピッ

——5秒以内に次の操作をする——

3 次に項目変更操作をし、選択したい項目に移ります。
リモコンボタンⅠ、Ⅱを同時に3秒以上押すたびに、確認音が鳴り、次の設定項目に移ります。

確認音が鳴るまでリモコンを押します。

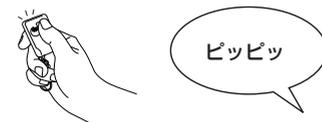
1回目の確認音：ピューピュピッ

——5秒以内に次の操作をする——

4 クリックトーンをONに設定したい場合

リモコンボタンⅠを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音：ピッ

クリックトーンをOFFに設定したい場合

リモコンボタンⅡを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音：ピッピッ

——リモコン操作はしません——

5 約5秒後、終了の確認音が鳴り設定を完了します。

確認音：ピッピューピュ

●各操作は5秒以内に行なってください。5秒以上操作しない場合には確認音「ピッピューピュ」が鳴って設定を終了します。設定できなかった場合は最初からやり直してください。
●項目変更操作は設定項目を飛ばしたり、前の項目に戻ったりすることはできません。
項目変更操作をまちがえた場合は最初からやり直してください。

●クリックトーンOFFの場合は、機能設定に入るときの「ピッ」「ピッピッ」は鳴りません。

機能設定項目2　サイレンタイムの選択

【サイレンタイムの選択】標準設定　30秒
サイレンの鳴る時間を　5秒、10秒、15秒、30秒から選択できます。

1 リモコンボタンⅠを1秒ほど押して
システムをONにします。

確認音：ピッ

ピッ

――5秒以内に次の操作をする――

2 リモコンボタンⅠを1秒ほど押して
システムをOFFにします。

確認音：ピッピッ

ピッピッ

――5秒以内に次の操作をする――

3 次に項目変更操作をし、選択したい項目に移ります。
リモコンボタンⅠ、Ⅱを同時に3秒以上押すたびに、確認音が鳴り、次の設定項目に移ります。

リモコンボタンⅠ、Ⅱを同時に3秒以上押し、2回目の
ピュービュピッピッまで移ります。

1回目の確認音：ピュービュピッ

2回目の確認音：ピュービュピッピッ

ピュービュ ピッピッ

――5秒以内に次の操作をする――

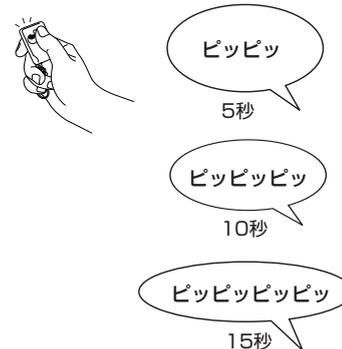
4 サイレンタイムを30秒に設定したい場合

リモコンボタンⅠを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音：ピッ

サイレンタイムを変更したい場合

リモコンボタンⅡを5秒以内に1秒ほど押すたびに、5秒、10秒、15秒を繰り返します。

確認音：ピッピッ（5秒）
ピッピッピッ（10秒）
ピッピッピッピッ（15秒）

ピッピッ
5秒

ピッピッピッ
10秒

ピッピッピッピッ
15秒

――リモコン操作はしません――

5 約5秒後、終了の確認音が鳴り設定を完了します。

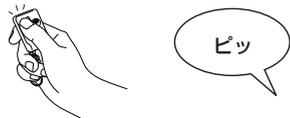
確認音：ピッピュービュ

ヒント

- 各操作は5秒以内に行なってください。5秒以上操作しない場合には確認音「ピッピュービュ」が鳴って設定を終了します。設定できなかった場合は最初からやり直してください。
- 項目変更操作は設定項目を飛ばしたり、前の項目に戻ったりすることはできません。
項目変更操作をまちがえた場合は最初からやり直してください。

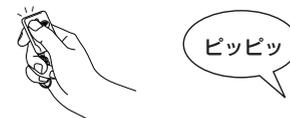
機能設定項目3　電流センサー　ON／OFF

【電流センサー　ON／OFF】標準設定　ON
電流センサーを使用するか、しないかを選択できます。

1 リモコンボタンⅠを1秒ほど押して
システムをONにします。

確認音：ピッ

——5秒以内に次の操作をする——

2 リモコンボタンⅠを1秒ほど押して
システムをOFFにします。

確認音：ピッピッ

——5秒以内に次の操作をする——

3 次に項目変更操作をし、選択したい項目に移ります。
リモコンボタンⅠ、Ⅱを同時に3秒以上押すたびに、
確認音が鳴り、次の設定項目に移ります。

リモコンボタンⅠ、Ⅱを同時に3秒以上押し、3回目の
ピューピュピッピッピッまで移ります。

1回目の確認音：ピューピュピッ
2回目の確認音：ピューピュピッピッ

3回目の確認音：ピューピュピッピッピッ

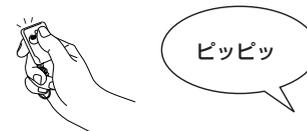
——5秒以内に次の操作をする——

4 電流センサーをONに設定したい場合

リモコンボタンⅠを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音：ピッ

電流センサーをOFFに設定したい場合

リモコンボタンⅡを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音：ピッピッ

——リモコン操作はしません——

5 約5秒後、終了の確認音が鳴り設定を完了します。

確認音：ピッピューピュ

ヒント

- 各操作は5秒以内に行なってください。5秒以上操作しない場合には確認音「ピッピューピュ」が鳴って設定を終了します。設定できなかった場合は最初からやり直してください。
- 項目変更操作は設定項目を飛ばしたり、前の項目に戻ったりすることはできません。
項目変更操作をまちがえた場合は最初からやり直してください。

機能設定項目4　センサー警戒開始時間

【センサー警戒開始時間　5秒／5分】標準設定　5秒

メインユニット内蔵センサーの2段階衝撃センサーと電流センサーの警戒開始時間を5秒または5分に設定します。

1 リモコンボタンⅠを1秒ほど押して
システムをONにします。

確認音：ピッ

——5秒以内に次の操作をする——

2 リモコンボタンⅠを1秒ほど押して
システムをOFFにします。

確認音：ピッピッ

——5秒以内に次の操作をする——

3 次に項目変更操作をし、選択したい項目に移ります。
リモコンボタンⅠ、Ⅱを同時に3秒以上押すたびに、
確認音が鳴り、次の設定項目に移ります。

リモコンボタンⅠ、Ⅱを同時に3秒以上押し、
4回目のピューピュピッピッピッピッまで移ります。

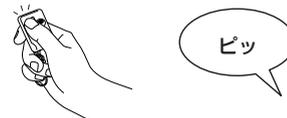
1回目の確認音：ピューピュピッ
2回目の確認音：ピューピュピッピッ

⋮

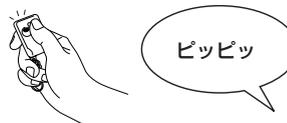
4回目の確認音：ピューピュピッピッピッピッ

——5秒以内に次の操作をする——

4 センサー警戒開始時間を5秒に設定したい場合

リモコンボタンⅠを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音：ピッ

マルチプレックスをOFFに設定したい場合

リモコンボタンⅡを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音：ピッピッ

——リモコン操作はしません——

5 約5秒後、終了の確認音が鳴り設定を完了します。

確認音：ピッピューピュ

ヒント

●各操作は5秒以内に行なってください。5秒以上操作しない場合には確認音「ピッピューピュ」が鳴って設定を終了します。設定できなかった場合は最初からやり直してください。
●項目変更操作は設定項目を飛ばしたり、前の項目に戻ったりすることはできません。
項目変更操作をまちがえた場合は最初からやり直してください。

機能設定項目5　センサーレポート音

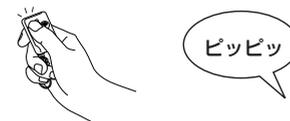
【センサーレポート音　ON／OFF】標準設定　ON
各種センサーが作動した状態でホーネットがONになった場合に、センサーが作動していることをレポートします。半ドアのチェックなどにも便利な機能です。

1 リモコンボタンⅠを1秒ほど押して
システムをONにします。

確認音：ピッ

——5秒以内に次の操作をする——

2 リモコンボタンⅠを1秒ほど押して
システムをOFFにします。

確認音：ピッピッ

——5秒以内に次の操作をする——

3 次に項目変更操作をし、選択したい項目に移ります。
リモコンボタンⅠ、Ⅱを同時に3秒以上押すたびに、
確認音が鳴り、次の設定項目に移ります。

リモコンボタンⅠ、Ⅱを同時に3秒以上押し、5回目の
ピューピュ<u>ピッピッピッピッピッ</u>まで移ります。

ピューピュ
<u>ピッピッピッピッピッ</u>

1回目の確認音：ピューピュ<u>ピッ</u>
2回目の確認音：ピューピュ<u>ピッピッ</u>

⋮

5回目の確認音：ピューピュ<u>ピッピッピッピッピッ</u>

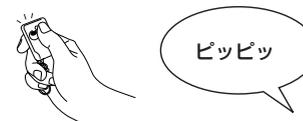
——5秒以内に次の操作をする——

4 <u>センサーレポート音をONに設定したい場合</u>

リモコンボタンⅠを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音：ピッ

<u>センサーレポート音をOFFに設定したい場合</u>

リモコンボタンⅡを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音：ピッピッ

——リモコン操作はしません——

5 約5秒後、終了の確認音が鳴り設定を完了します。

確認音：ピッピューピュ

ヒント

- 各操作は5秒以内に行なってください。5秒以上操作しない場合には確認音「ピッピューピュ」が鳴って設定を終了します。設定できなかった場合は最初からやり直してください。
- 項目変更操作は設定項目を飛ばしたり、前の項目に戻ったりすることはできません。
  項目変更操作をまちがえた場合は最初からやり直してください。

機能設定項目6　2段階衝撃センサーフルサイレン

【2段階衝撃センサーフルサイレン　ON／OFF】標準設定　ON

サイレンモードの設定ににかかわらず、警告音のみで警戒をする場合にはOFFに設定します。

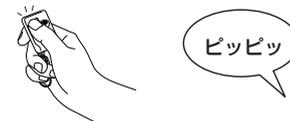
1 リモコンボタンⅠを1秒ほど押して
システムをONにします。

確認音：ピッ

ピッ

——5秒以内に次の操作をする——

2 リモコンボタンⅠを1秒ほど押して
システムをOFFにします。

確認音：ピッピッ

ピッピッ

——5秒以内に次の操作をする——

3 次に項目変更操作をし、選択したい項目に移ります。
リモコンボタンⅠ、Ⅱを同時に**3秒以上押すたびに**、
確認音が鳴り、次の設定項目に移ります。

リモコンボタンⅠ、Ⅱを同時に3秒以上押し、6回目の
確認音が鳴るまで繰り返します。

ピューピュ
ピッピッピッピッ
ピッピッ

1回目の確認音：ピューピュピッ
2回目の確認音：ピューピュピッピッ

⋮

6回目の確認音：ピューピュ
ピッピッピッピッピッピッ

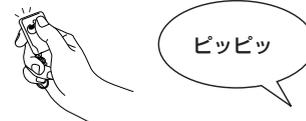
——5秒以内に次の操作をする——

4 サイレン音と警告音で警戒したい場合

リモコンボタンⅠを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音：ピッ

警告音のみで警戒したい場合

リモコンボタンⅡを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音：ピッピッ

——リモコン操作はしません——

5 約5秒後、終了の確認音が鳴り設定を完了します。

確認音：ピッピューピュ

ヒント

- 各操作は5秒以内に行なってください。5秒以上操作しない場合には確認音「ピッピューピュ」が鳴って設定を終了します。設定できなかった場合は最初からやり直してください。
- 項目変更操作は設定項目を飛ばしたり、前の項目に戻ったりすることはできません。
項目変更操作をまちがえた場合は最初からやり直してください。

機能設定

機能設定項目7　NR-Aノイズリダクション™機能

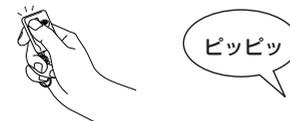
【NR-Aノイズリダクション機能　ON／OFF】標準設定　ON
トラックノイズなどの連続微振動に対してサイレンを鳴らさずに警告音のみで警戒をします。

1 リモコンボタンⅠを1秒ほど押して
システムをONにします。

確認音：ピッ

——5秒以内に次の操作をする——

2 リモコンボタンⅠを1秒ほど押して
システムをOFFにします。

確認音：ピッピッ

——5秒以内に次の操作をする——

3 次に項目変更操作をし、選択したい項目に移ります。
リモコンボタンⅠ、Ⅱを同時に3秒以上押すたびに、
確認音が鳴り、次の設定項目に移ります。

リモコンボタンⅠ、Ⅱを同時に3秒以上押し、7回目の
確認音が鳴るまで繰り返します。

1回目の確認音：ピューピュピッ
2回目の確認音：ピューピュピッピッ

⋮

7回目の確認音：ピューピュ
ピッピッピッピッピッピッピッ

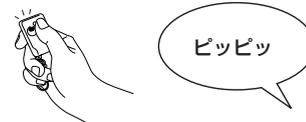
——5秒以内に次の操作をする——

4 NR-AをONに設定したい場合

リモコンボタンⅠを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音：ピッ

NR-AをOFFに設定したい場合

リモコンボタンⅡを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音：ピッピッ

——リモコン操作はしません——

5 約5秒後、終了の確認音が鳴り設定を完了します。

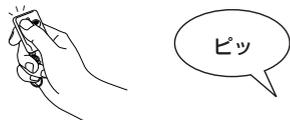
確認音：ピッピューピュ

ヒント

- 各操作は5秒以内に行なってください。5秒以上操作しない場合には確認音「ピッピューピュ」が鳴って設定を終了します。設定できなかった場合は最初からやり直してください。
- 項目変更操作は設定項目を飛ばしたり、前の項目に戻ったりすることはできません。
項目変更操作をまちがえた場合は最初からやり直してください。

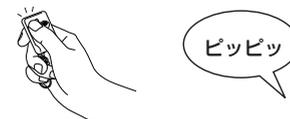
機能設定項目8　コードホッピング®

【コードホッピング　ON／OFF】標準設定　ON
リモコンのID番号をランダムに変化させて、二度と同じIDを使用しないので、IDコードの盗難ができなくなります。

1 リモコンボタンⅠを1秒ほど押して
システムをONにします。

確認音：ピッ

――5秒以内に次の操作をする――

2 リモコンボタンⅠを1秒ほど押して
システムをOFFにします。

確認音：ピッピッ

――5秒以内に次の操作をする――

3 次に項目変更操作をし、選択したい項目に移ります。
リモコンボタンⅠ、Ⅱを同時に**3秒以上押すたびに**、
確認音が鳴り、次の設定項目に移ります。

リモコンボタンⅠ、Ⅱを同時に3秒以上押し、8回目の
確認音が鳴るまで繰り返します。

1回目の確認音：ピューピュピッ
2回目の確認音：ピューピュピッピッ

⋮

8回目の確認音：ピューピュ
ピッピッピッピッピッピッピッピッ

――5秒以内に次の操作をする――

4 コードホッピングをONに設定したい場合

リモコンボタンⅠを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音：ピッ

コードホッピングをOFFに設定したい場合

リモコンボタンⅡを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音：ピッピッ

――リモコン操作はしません――

5 約5秒後、終了の確認音が鳴り設定を完了します。

確認音：ピッピューピュ

ヒント

- 各操作は5秒以内に行なってください。5秒以上操作しない場合には確認音「ピッピューピュ」が鳴って設定を終了します。設定できなかった場合は最初からやり直してください。
- 項目変更操作は設定項目を飛ばしたり、前の項目に戻ったりすることはできません。
項目変更操作をまちがえた場合は最初からやり直してください。

トラブルシュート

故障かな？と思ったら

症状と原因	対　　策
☆勝手にサイレンが鳴る	
・メインユニットの固定が不十分	確実に固定してください。
・電源線の接触不良	電源線を確実に接続してください。
・各センサーの感度が高すぎる	センサーの感度を絞ってください。
・衝撃センサーの感度が強すぎる	感度を絞ってください。
・電流変化が起きている	電流センサーをOFFにし､ドアトリガー線の配線を行なってください。
☆リモコンが利かない	
・同調がずれている	再度リモコンの同調をしてください。 （取付販売店に調整を依頼してください） ＊メインユニットの電源を何度か投入した場合に電源ノイズによりリモコンの同調がずれることがあります。
・ラジオ局など無線局が近くにある	車の近くに寄って操作してください。
・アンテナを金属部に接続している	アンテナの固定箇所を変えてください。
・リモコンの電池がない	新しい電池に交換してください。
・リモコンの電池の接触不良	電池を入れ直してください。
・バッテリーが弱っている	新しいバッテリーに交換してください。
・水の浸入があった	お買い求めの販売店に持ち込み修理を依頼することをお勧めします。 ＊水の浸入による故障は保証期間内であっても有償修理となります。
☆ドアを開けてもサイレンが鳴らない	
・システムをONにしてから5秒以上待っていない	システムをONにしてから5秒以上待ってください。
・ドアトリガー線の接続不良	ドアトリガー線を確実に配線してください。
☆叩いてもサイレンが鳴らない	
・システムをONにしてから5秒以上待っていない	システムをONにしてから5秒以上待ってください。
・車体を揺らしている	揺れには反応しません。
・感度が低すぎる	感度を上げてください。
・メインユニットの固定位置が最適でない	説明書通りに固定してください。
・黄色線を常時電源に接続している	黄色線は必ずIG ONで+12Vが供給される線に接続してください。
☆オプションセンサーが働かない	
・システムをONにしてから5秒以上待っていない	システムをONにしてから5秒以上待ってください。
・感度が低すぎる	感度を上げてください。
・テスト方法が違っている	各センサーに最適なテスト方法でテストしてください。 （オプション付属の説明書参照）
・黄色線を常時電源に接続している	黄色線は必ずIG ONで+12Vが供給される線に接続してください。

上記のテストを行なっても正しく作動しない場合は取付販売店へお尋ねください。

アフターサービスについて

アフターサービスについて

●万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。
●本製品の保証期間はお買い上げの日から1年間です。
●保証期間経過後は、修理によって本製品の性能が維持できる場合、お客様のご要望により有料にて修理致します。本製品の補修用性能部品は製造打切り後、最低6年間保存しています。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証書について

●製品には製品保証書を添付しております。ご購入の際には、必ず製品保証書をお受け取りの上、大切に保管してください。尚、店名、ご購入日、お客様名などの必要事項の記載のないものは保証期間中であっても無効となります。
●シリアル番号は安全確保上重要なものです。お買い上げの際にはメインユニットにシリアル番号が表示されているか、また、保証書記載のシリアル番号と一致しているかお確かめください。お客様の安全管理、アフターサービスのため、保険加入をしない場合でもユーザー登録は必ずユーザー登録兼保険加入申込書（はがき）により郵送にて行なってください。（FAX不可）
ユーザー登録がされてない場合にはサポートが受けられない場合がありますのであらかじめご了承ください。
車載物盗難保険を希望されない場合は「加入しない」にチェックをしてから投函してください。

修理を依頼されるときは

●説明書に記載の「故障かな？と思ったら」（P.42）を参考にして、故障かどうかを確認してください。故障とお考えの前に取付販売店または当社カスタマーセンターにご相談ください。当社カスタマーセンターへご相談後に検査依頼をされた場合でも、送料はお客様のご負担となります。
●修理をご依頼の際は、下記事項を確認して取付販売店へご依頼ください。
このとき保証書は必ずご提示ください。

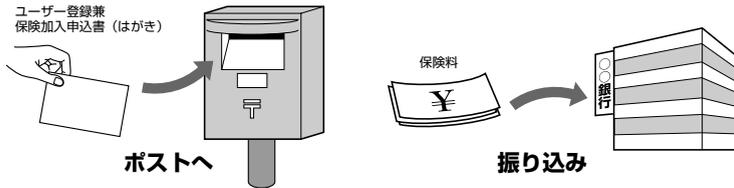
1　型式名、型番号、シリアル番号
　（例：ホーネット728G　　５０１２２０４３２１）
2　故障の内容
　（どのような症状か・どんな時に症状がでるか・いつでもでるか、時々かなど）
3　お買い上げ年月日
4　お買い上げ店名
5　お名前、住所、連絡先電話番号

●修理時に取り外した不良品は品質改善のため、あしからず当方にて引き取らせて頂きます。
●購入店が移転・閉店した場合は、お近くのホーネット取扱店までご相談ください。
●当社では製品の検査・修理時の代品貸し出し等は一切行なっておりません。また、修理を依頼されるときの送料、取り付け・取り外しにかかる工賃等の諸費用はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

ホーネット車載物盗難保険について

加入の前に必ず下記の内容をお読みください。

■保険種目　盗難保険
■保険対象物　カーオーディオ全般、カーテレビ、カーナビ（外付アンテナは除く）、無線機、ETC（外付部品は除く）
■保険金額　50万円を上限とし、時価額でお支払い致します。(保険会社査定による)
■保険期間　ユーザー登録兼保険加入申込書（はがき）及び保険料の入金が確認された月の翌月1日午後4時から1年間または2年間
■保険概要　窓ガラスまたはキーシリンダーに破損を受け、保険対象物が盗難にあった場合に限り、保険金をお支払い致します。（破損部分の損害に関しては免責です）
■年間保険料　保険料の振り込みが必要です。
　1年間加入申込の場合、3,000円
　2年間加入申込の場合、5,500円

※ユーザー登録兼保険加入申込書（はがき）は購入後1ヶ月以内に所定の手続きに従って記入、捺印の上ご投函ください。（お客様控えは製品保証書も兼ねていますので大切に保管してください。）
※購入後1ヶ月以内に保険料をお振り込みください。
※車載物盗難保険に加入する場合は必ず申込書の「加入します」と保険対象物にチェックをしてから投函してください。チェックが無い場合は無効となります。
※車両保険との重複支払いは致しません。

注意

●車載物盗難保険はユーザー登録兼保険加入申込書が返送されていない場合や申込書の「加入します」にチェック、保険対象物にチェックがされていない場合には無効になります。１ヶ月以降に投函・入金されたものに関しても無効とさせていただきますのでご了承ください。また、車載物の盗難、車両盗難などが万一発生しても、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。車載物盗難保険のご不明な点または詳細につきましては、保険加入申込書お客様控え及び本書に記載の損害保険会社までお問い合わせください。
●同梱のはがきは製品保証書も兼ねていますので大切に保管してください。
●保険加入申込後の保険期間の変更及び延長はお受け致しかねます。
●車両盗難及びクレジットカードの被害は免責です。

お問い合わせ先・製品仕様

●ホーネットについてのお問い合わせは……

KATO-DENKI
加藤電機株式会社

ホーネットカスタマーセンター

TEL　03-5697-7341
FAX　0569-26-0089
E-mail : hornet@kato-denki.com
営業時間　月～金　10:00～17:00（土、日、祝祭日、年末年始等は除く）

※お問い合わせの際は、ホーネットの型式とシリアル番号を確認させていただきますのであらかじめご準備ください。

製品仕様

項目	仕様
●電源電圧	DC12V
●平均消費電流（待機時）	約6mA
●平均消費電流（警報時）	約1A
●サイレン音圧	約128dB
●使用周囲温度	約−40℃～+85℃
●メインユニット外形寸法	約108×76×29mm
●メインユニット質量	約127g